



INUYASHA

Unofficial Fanbook #30
Inuyasha × Kagome

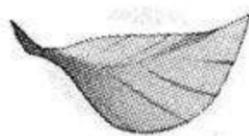
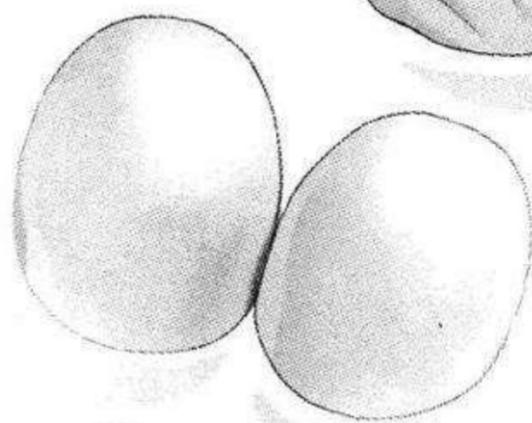
Presented by
Motobi

これから
317ニシテ

R18

-Bowwowo-





INUYASHA
Unofficial Fanbook #30
Inuyasha × Kagome

Presented by
Motobi

それから
317ニシテ〃〇

The page is decorated with stylized leaf patterns in the corners. The leaves are rendered in a light gray, stippled style, giving them a soft, ethereal appearance. They are arranged in clusters, with some branches extending from the corners towards the center of the page. The overall aesthetic is clean and minimalist.

はじめに

「あれから」(ワイド版 30 巻収録話)
の後の設定です、が、毎度ながら色々
と大目に見てください…。



は~~~~~

やっとゆっくり出来るわね…

つとにな…

どいつもこいつもおれが半妖なのを良いことにこき使いやがって

それだけ頼りにされてるってことよ
おつかさま



昨晚、村に【根の首】と呼ばれる妖怪の襲撃があった

地下に根を張り人の養分を吸い取るその妖怪は桔梗の破魔矢で長い間封印されていたために四魂の玉が消滅したことを知らず

私のことを桔梗と思い込み玉を狙って来たのだ



皆で力を合わせて
退治して一件落着
となるはずが……

闘いで村中ぼこぼこに
なった地面の後始末が
これまた一苦労で

中でも力と体力のある
犬夜叉はなんだかんだと
最後まで修復に
勤しんでくれたのである

——そんなこんなで
今現在……

……つーか
おめー

もうあんな
無茶なことすんなよ

あんな
無茶って？

汗と疲れを
流すため

私と犬夜叉は
出湯に来ている





自分をおとりに
したことだよっ

もう一度言うが
食われるところ
だったんだぞおまえっ

あ~~~~
ごめんね
でも犬夜叉のこと
信じてたから...



はっ
ったく
少しは助ける方の
身にもなれ

心臓が止まる
思いだつたん
だぞ...

.....





く、口付けくれえ
いいじゃねえかよ
しゝ 完全に
その流しだつたろ...

長いつて...
たは...
そもそも一緒につて
誘つて来たのは
かごめじゃねえか

犬夜叉
一回スイッチ
入ったら長いしー

どうせ入るなら
その方が
手っ取り早いと
思っただけだしー
ほらさー

す

ふふふ
ふふふ



ふふふ



今日は
なんにも
しません。
わかった？



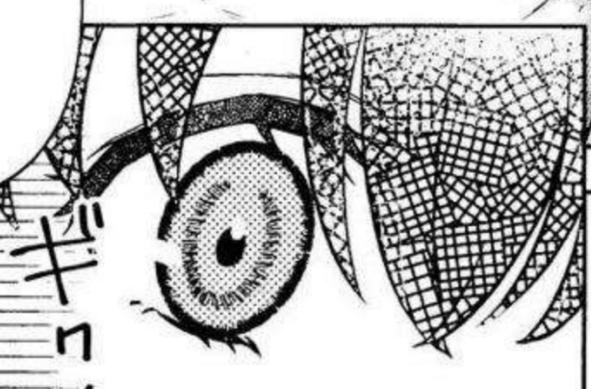


泳の中では
やめろ

グメン...

……やっぱ
怒ってんだろ

桔梗のこと



なっ
なんで今
桔梗なんて...

怒ってないって
言ったじゃない
しつこいと逆に
怒るわよっ

なら他に
何がある

ほ、他にも何も
ただ疲れてる
だけよ
徹夜だったし...

いや
それにしても
様子がへんだ

絶対何か
隠してやがる

じゃねえとあのむうどで
拒むハズがねえ!

そんな自信満々に
言われても...



胡麻化すなよ

おれは
真面目に
聞いてんだ

あ…

何かあるなら
ハッキリ
言ってくれ

かごめ



何よ…
普段ハッキリ
しないのは
そっちの癖に…

……っ

あーもう

敵わないなあ…

……
は……

いつもは鈍いくせに
こういう時だけ
妙に鋭くなるのは
なんなのかしら

ケツ
てことはやっぱ
凶星じゃねえか

くっ付いてくる割に
妙によそよそしいと
思ったんだ

言つとくが
本当に
やましーことは
なんもねーぞ

分かってる
わよ

……

…あのね、
ほんとに
怒っては
いないの

たとえ今更
過去に何があっても

正直に話してくれたら
全部受けとめる
つもりでいるわ。

犬夜叉のこと
信じてるし…

…信じて
るんだよな？

…ただ
少しだけ

犬夜叉から見た
私はまだ
あの頃の…

桔梗のことで
ヤキモキする
私のままなんだ
って思ったら
やるせなくて



ちよつと
いじけてたの

ごめんね

もう怒ったり
しないのにいつまで
そんな風に見られてる
んだらうって…

もっと私のことも
信じて欲しいのに
どうしたら
いいんだらうって

ひとり
ぐるぐる
考えちゃって



話し合いから
遠ざけたのは
本心

余計な心配を
させたくなえって
気持ちからだったが…

一方でこのまま
かごめの耳に
入れずに
済むならばと

心のどこかで
そう思っていたのも
事実だ

少しでも桔梗のことで
気を揉むことが
ないようにと……

けどそれは
おれの独りよがりで
……

かごめの気持ち
を考えきれてなかつた
んだな…

その上
おれが傍に居ない
ところで危ない目に
遭わせちまって…

……悪かった

犬夜叉が
素直に
謝るなんて…

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

おれを
なんだと
思ってたんだ

…ん、そっか
アンタも
アンタなりに
私のこと
考えてくれて
たのよね

でも！
これからは
こーゆー事は
なしだからねっ
やくそく!!

……わかった

じゃあ
これで…



かごめ…

仲直り
いいか?



おい
エリン

今度はなんだ
まだ何か
あんのか

いや…
だってなんか…
いつもこれで
流されちゃうな！
って…

流されるって
何だよ
嫌なのかよ

い、嫌じゃない…
けど…

冷静になったら
はずかしくなってきた…
っていうか…

ああ？
今更だな？

さんざん
密着して
入っというて
何言ってるんだ

そもそもあんた
昨日朝から妖怪退治
だったのに疲れてないの!?

疲れてるから
かごめに
癒されたいんだろ

ふふふけ
ないで…

言ったらろ
おれは真剣だ
…それに

とつくに
一線は
越えてるんだ

あの頃と違って
もうこの状況で
止められるかよ

ちよ、ちよっと
犬夜叉
あ、当たって…

当たてんだよ

観念しろ
かごめ……

ああもうほんとに
敵わない…

たら
たら













じゃあ
こっち……



……ここは
あんま
感じねえか？

え……



ちよっ……
やっ……!

かっ

はっ







来いよ、
かごめ



ん…

犬夜叉の声に
逆らえない…

ちゃふ…

引き寄せられる—

あんまり
激しくしないでね



ん…

……わかった

ん

ん



あ、あ、

は、

あ、

あ、

は、

あ、

は、

は、

あ、

は、
は、
ず、
ず、
ず、

は、

…かごめんナカ、
すげえ熱い…

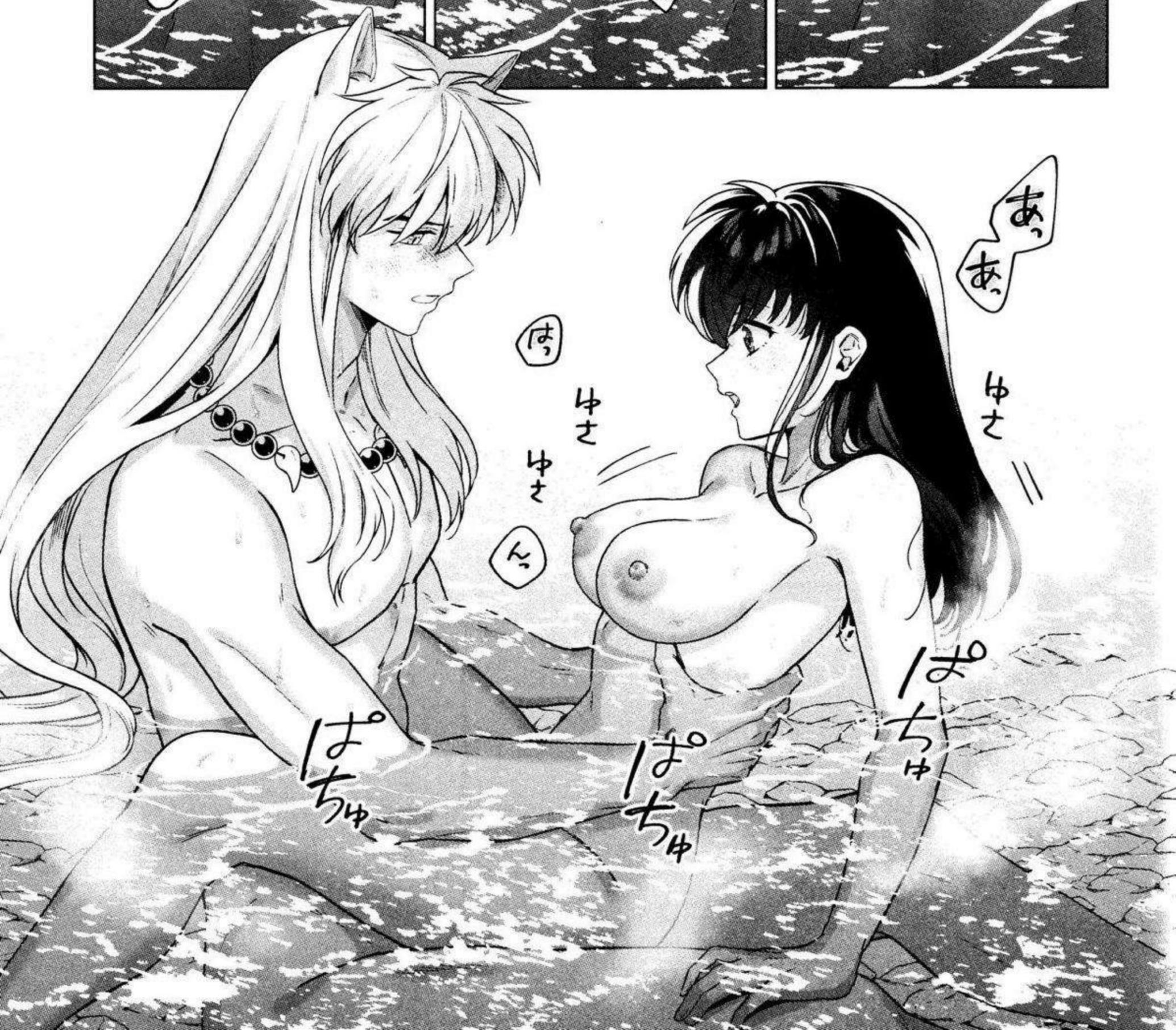
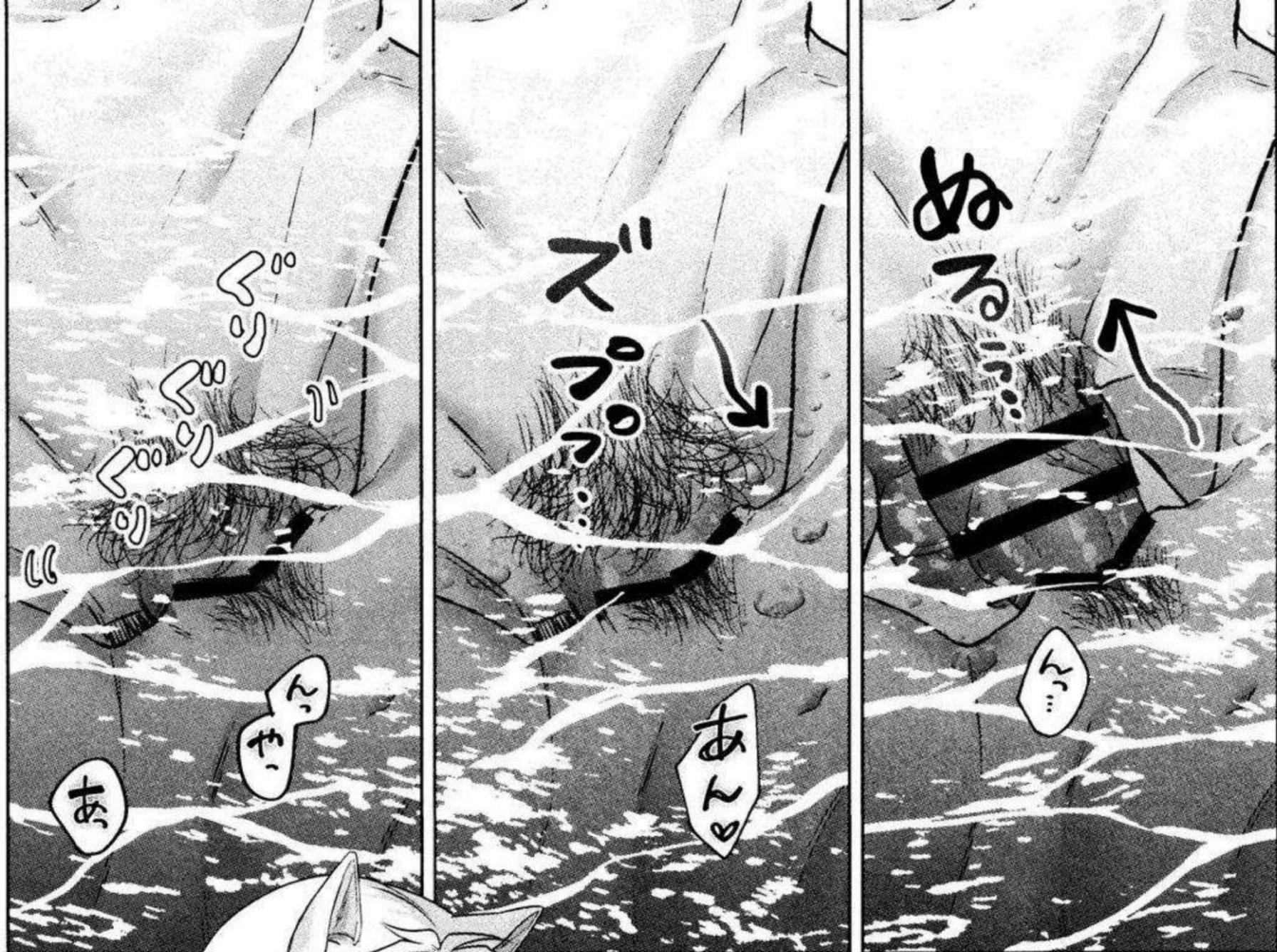
犬夜叉の
だって…

あ、

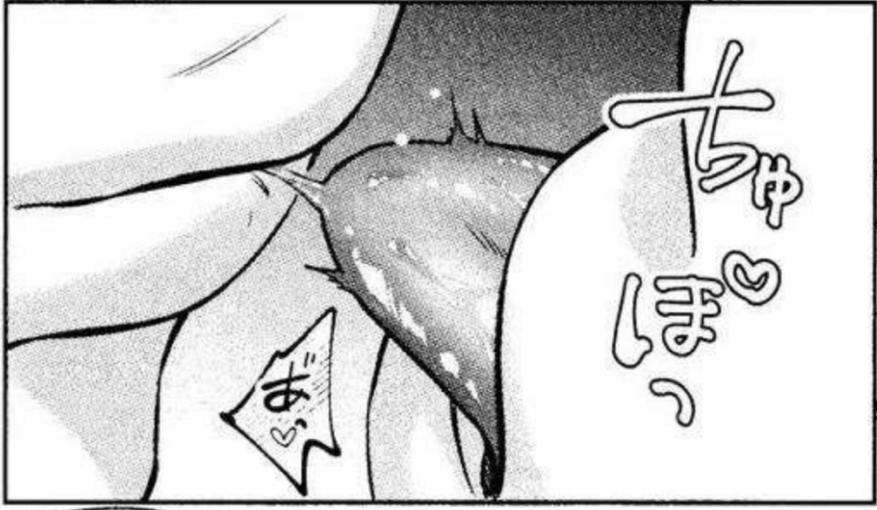
あ、

は、









後ろ向いて
くれるか？
かごめ……



……





さっきの、もういいって……

早く終わりたく
なったのか？

ちが、
そうじゃなくて

犬夜叉が
辛そう
だったから……っ



かごめの方が
どうなんだよ



辛そうって…
おれは別に



もっと
来て……っ

だい、じよぶ…
きもちい、から

ぽん
ちん







ぞんぞん



ぽんぽん

……もう



いっつも犬夜叉に
乗せられちゃうけど……

はあ……

まあいっか♡

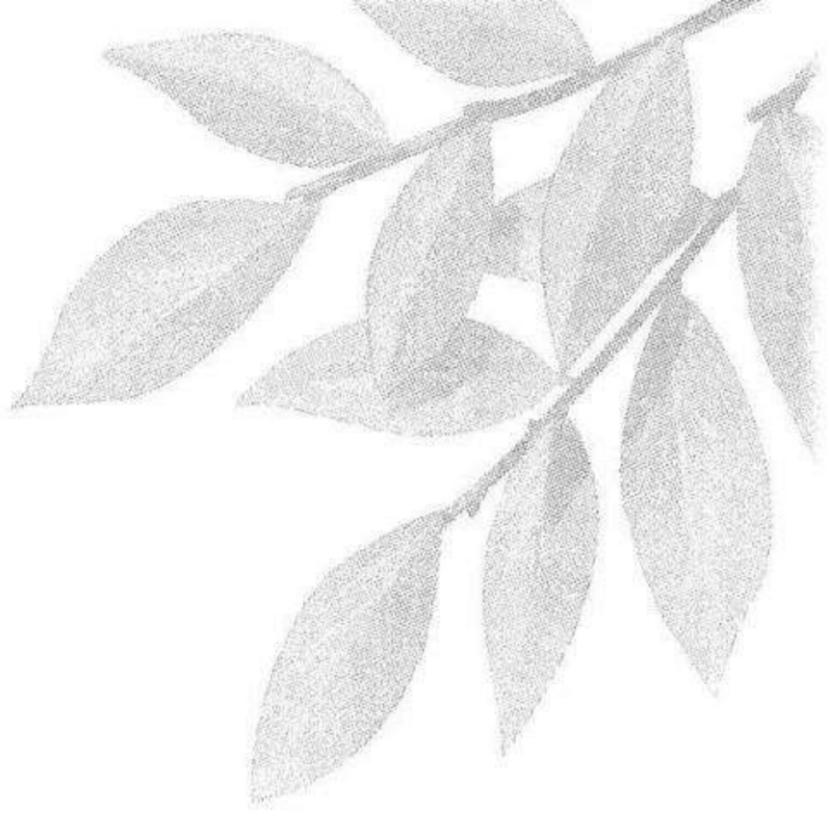


ん……

って思う私って
犬夜叉に
甘過ぎかしら……

はく女
疲れを取るために
来たのに
くたくただわ

……
おぶって
帰ってやる
から……



それから
31日ニリて!!

発行者：もとび/Bowwowo
サイト：<http://hzk.boo.jp/inu/>
発行日：2025年5月3日
SUPER COMIC CITY 32-day1-
印刷所：HOPE21 様

↑
ほんと♡
素敵な文字を
ありがとうございます!!!
♡

▼SPECIAL THANKS

タイトル文字：mutsuki 様 /XID@mutsuki_0106

▼禁止事項

- ・ 無断転載・複製・転用・webへのアップロード
- ・ ネットオークション・フリマアプリへの出品

不要になった際は燃えるゴミ or 中古同人誌ショップへお願いいたします。

▼Prohibited Actions

- ・ Unauthorized reproduction, copying, redistribution, or uploading to the web.
- ・ Listing on online auctions or flea market apps.

If you no longer wish to keep this book, please dispose of it as burnable trash or take it to a secondhand doujinshi shop.



▼あとかき

(桔梗のことを)隠した隠してないに関しては
原作では最後にかごめがおすわり一本でさらっと水に流して無事 HAPPYEND に
なってるのでこんな流れには絶対ならないなあと思いながら強行突破しました。
多分この本の時空ではあの最後のやりとりはなかったんだと思います。
すぐ穴埋め作業にとりかかったんだ。そういうことでお願いします…。

次ページからもうちょっとだけおまけ漫画があります。

本当は前回の本【神無月の暮に】で取り上げようとしたネタなんですが
こねくり回してるうちに合わなくなって入れられなかったので
今回簡単にサルベージしました。

戦国時代で暮らしていくうちに巫女装束もかごめにとってしっかりとした
アイデンティティのひとつになってたらしいなと勝手に思いを馳せています。
最終回で何の説明もなくしれっと着用させた留美子先生、つくづく神過ぎる…。

ここまでお読みいただきありがとうございました。

2025.4 



諸事情により
没にした1コマ



別に巫女装束
じゃなくても
狙って来るやつは
狙って来るわよ

……いいいや
それはそうかも
しんねえが…

小袖くれえなら
いくらでも…

そんなに
私に巫女装束
着てほしくないんだ

やっぱ桔梗に
似てるから？

そんなこと
言ってねえだろっ
似てねえっ！

だってさっき
桔梗に間違えられた
って…

だから
おれは思っ
なくても
他のやつらが…

裸になれって
言っただけじゃねえっ、

あのヘンな着物
着ろっつってんだっ

桔梗に
似てるから!?



関係ねえだろ

…心配してくれて
ありがとう

でもやっぱり
今のままで
いいかな

え…

かごめ…
あとは
おまえが

桔梗のことも
そうだけど…





私、神社の娘だし。

結構
気に入ってるのよ
この恰好♡

……そうか

また危ない目に
遭ったら助けてね

たりめーだ

おわり

